

【配配メール】API連携(分析、数値データ取得)仕様書

第1.16 版 2024.5.23

目次

概要	3
前提条件	4
通信方式	4
利用制限	4
リクエストについて	5
レスポンスについて	6
実行結果サンプル	7
エラーコード	11
注意事項	11
APIリスト	12
開封メール取得API	12
クリックメール取得API	14
配信停止／禁止顧客一覧取得API	16
来訪回数取得API	17
メール一覧取得API	18
顧客閲覧URL生成API	20
グループ名・ステップメールのプラン名一覧取得API	21
顧客DB項目一覧取得API	22
反応者一覧取得API	23
フォーム一覧取得API	27
フォーム回答一覧取得API	28

概要

本書は以下項目の利用方法と注意事項について記述しています。
連携可能なAPIの種類は以下の通りです。

- ・開封メール取得 API
 - 指定した日時に開封したメールアドレスや、開封されたメールのID、件名等のデータを取得するAPIです。
- ・クリックメール取得 API
 - 指定した日時にクリックしたメールアドレスや、クリックされたメールのID、件名等のデータを取得するAPIです。
- ・配信停止／禁止顧客一覧取得 API
 - グループ(またはステップメールプラン)を横断し、いずれかで配信停止または配信禁止となっているメールアドレスの一覧を取得する
- ・来訪回数取得 API
 - 該当する来訪タグのIDや来訪タグ名、来訪したメールアドレスの来訪回数を取得できます。
※Bridgeプランのみ利用可能
- ・メール一覧取得 API
 - 指定した日付に配信が完了したメール一覧を取得する API です。
該当するメールIDの他、配信日時、配信数、開封数、クリック数などを取得できます。
- ・顧客閲覧URL生成 API
 - 指定したメールアドレスに対応する顧客閲覧画面のURLを生成するAPIです。
- ・グループ名・ステップメールのプラン名一覧取得 API
 - グループ名・ステップメールのプラン名の一覧を取得する API です。
- ・顧客DB項目一覧取得 API
 - 顧客DB項目のIDと項目名を取得するAPIです。
- ・反応者一覧取得 API
 - 指定した日の効果測定の結果を取得するAPIです。
- ・フォーム一覧取得API
 - 登録されているフォームの一覧を取得するAPIです。
- ・フォーム回答一覧取得API
 - 指定した日時のフォームの回答一覧を取得するAPIです。

前提条件

- ・配メール契約者であること。
- ・API連携オプションを申し込まれていること。

通信方式

- ・通信方式 : POST(HTTPS)
- ・文字コード : UTF-8

利用制限

- ・API連携機能(分析、数値データ取得)は1日あたりの利用回数に制限を設けています。
制限回数を超えた場合はエラーになり、夜0:00に回数がリセットされるまで利用することができません。

◆ 利用制限 : 240回/日 (※API毎)

※エラーを除くすべてのAPIの利用回数対象となります。

※専用サーバープランをご契約頂いた場合の制限は「86,400回/日」となります

※反応者一覧取得 API については「効果測定種別」1種類毎に「240回/日」となります

[制限を超えた際のエラーコード]

Code	Status	メッセージ
429	too many requests	API の実行回数が制限を超えました。

◆ 注意事項

本APIは配メール内の情報と他システムの情報を定期的に同期することを目的として公開しているAPIになります。
毎分4回(専用サーバープランご契約時は毎分60回)を超えるような短時間に集中したリクエストを伴う運用についてはご遠慮いただくケースが御座いますので、予めご承知おきください。

リクエストについて

◆ リクエストヘッダ

各API共通のリクエストヘッダを指定します。

- Content-Type: application/json
- X-HM-apitoken: {APIトークン}

APIトークンは基本設定画面より生成することができます。

注意) 基本設定画面の「変更」ボタンを押さないと設定が保存されませんので、必ず「変更」ボタンを押してください

APIトークン	YsAz6QybgC8qwK64A4rU6v8Nr5nmS90GW9wu1SI58SFFFHuttA2Obg778vj40Y5a [再生成] [削除] 「変更」ボタンを押すとAPIトークンが有効になります。
APIパスワード (外部システム連携専用)	<input type="checkbox"/> 接続用パスワードを変更する

◆ リクエストパラメータ

リクエストパラメータはJSON形式で指定します。

API毎に設定されたパラメータのキーと値のペアをオブジェクトに格納しリクエストを送ります。

```
{
  "search": {
    key : value    ...①
  }
}
```

※①にAPI毎のパラメータを指定します。詳しくはp.11以降のAPIの説明をご覧ください。

「開封メール数取得API」の場合

例)

```
{
  "search": {
    "date": "2019/02/14"
  }
}
```

レスポンスについて

成功時はCSV形式、エラー時はJSON形式でレスポンスを受け取ることができます。

◆ CSV形式

- 1行目 : ヘッダが出力されます。
- 2行目移行 : データが出力されます。

※1行目(ヘッダ)は常に出力されます。

◆ JSON形式

以下の情報を、JSON形式でレスポンスを受け取ることができます。

論理名	物理名	詳細情報
status	ステータス	レスポンスのステータス(success:成功 error:異常)
code	レスポンスコード	HTTPステータスコード
url	リクエストURL	リクエストされたURL
query	リクエストパラメータ(枠)	リクエストパラメータの大枠
└ \${query parameter key}	各種リクエストパラメータ(複数)	リクエストパラメータで指定されたkeyとvalue
errors	エラー(枠)	エラーの大枠
└code	エラーコード	エラーコード
└msg	エラーメッセージ	エラー時のエラーメッセージ
└description	詳細情報	エラー情報の詳細情報
└name	パラメータ名(バリデートエラー時)	
└value	パラメータ値(バリデートエラー時)	
└code	エラーコード(バリデートエラー時)	エラーコード(詳細)
└msg	エラーメッセージ(バリデートエラー時)	
version	バージョン	APIのバージョン
accessTime	アクセス日時	APIアクセス日時(yyyy/MM/dd HH:mm:ss)

実行結果サンプル

配メールは、実行結果を以下のような形式で返します。

【成功した場合のレスポンス】

CSV形式

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Thu, 13 Feb 2020 02:42:21 GMT
Server: Apache
Cache-Control: public
Pragma: public
X-Content-Type-Options: nosniff
Content-Disposition: attachment; filename*=UTF-8"pvcount_get_20200213114221.csv
Content-Transfer-Encoding: binary
Content-Length: 431
Keep-Alive: timeout=5, max=100
Connection: Keep-Alive
Content-Type: text/csv;charset=UTF-8
```

【失敗した場合のレスポンス】

※ボディ部の表記は一例です。

・パラメータエラーによって処理に失敗した場合

```
JSON形式
{
  "status": "error",
  "code": 400,
  "url": "¥/IDjb8n¥/api¥/v1¥/pvcount¥/get",
  "query": {
    "search": {
      "date": "2019¥/9¥/32"
    }
  },
  "errors": {
    "code": 100,
    "msg": "パラメータが不正です。",
    "description": [
      {
        "name": "date",
        "value": "2019¥/9¥/32",
        "code": 2,
        "msg": "型が正しくありません。"
      }
    ]
  },
  "version": "v1",
  "accessTime": "2020-02-13 09:47:20"
}
```


【失敗した場合のレスポンス】

※ボディ部の表記は一例です。

・認証エラーによって処理に失敗した場合

JSON形式
<pre>{ "status": "error", "code": 402, "url": "¥/IDjb8n¥/api¥/v1¥/pvcount¥/get", "query": { "search": { "date": "2019¥/9¥/3" } }, "errors": { "code": 2, "msg": "API連携オプションが未契約です。" }, "version": "v1", "accessTime": "2020-02-13 09:40:29" }</pre>

【失敗した場合のレスポンス】

※ボディ部の表記は一例です。

・サーバーエラーによって処理に失敗した場合

```
JSON形式
{
  "status": "error",
  "code": 500,
  "url": "¥/bridge¥/api¥/v1¥/pvcount¥/get",
  "query": {
    "search": {
      "date": "2019¥/9¥/3"
    }
  },
  "errors": {
    "code": 999,
    "msg": "内部エラーが発生しました。"
  },
  "version": "v1",
  "accessTime": "2020-01-09 16:59:01"
}
```

エラーコード

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

レスポンスコード	エラーコード	エラー詳細コード	メッセージ
400	100	1	必須項目です。
400	100	2	型が正しくありません。
400	100	8	指定されたデータは存在しません。
400	200	-	対象データが存在しません。
400	202	-	リクエストの形式が正しくありません。
400	11	-	X-HM-apitokenが設定されていません。
401	1	-	認証エラーです
402	2	-	API連携オプションが未契約です。
403	4	-	アクセスが拒否されました。
403	7	-	アクセスが拒否されました。
404	3	-	URLが存在しません。
405	8	-	対応していないHTTPメソッドです。
413	5	-	1回の実行で送信できる容量を超えました。
429	6	-	APIの実行回数が制限を超えました。
500	999	-	内部エラーが発生しました。
503	900	-	メンテナンス中です。

注意事項

○接続元IPアドレスの制限は、基本設定画面より設定することが可能です。
 接続元IPアドレスを指定されている場合は、その指定のIPアドレス以外からはアクセスすることができません。
 設定方法の詳細は、マニュアルをご覧ください。

◆ 配信メールマニュアル

<https://support.haihaimail.jp/manual/all/setting/#IP-2>

APIリスト

開封メール取得API

【概要】

開封したHTMLメールのデータを取得するAPIです。

【接続先URL】

https://●●●●●●/■■■■■■/api/v1/openhtml/get

●●●●●●/■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログインURLに置き換えてください。

例)お客様のログインURLが https://a01.hm-f.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、a01.hm-f.jp

■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
date	検索日	文字列		メールデータの抽出対象とする開封日付を指定します。 ※指定が無い場合は前日分のデータを取得します 例. “2020/02/14”

【取得内容】

ファイル名 : openhtml_get_{YYYYmmddHHiiss}.csv

CSV項目名	表示例
メールアドレス	user01@example.com
メール種類	グループ({ 配信グループ名 }) スポット ステップ({ ステップメールプラン名 }) A/Bテスト({ 配信グループ名 }) トリガー({ 配信グループ名 }) フォローメール({ 配信グループ名 }) ※{ 配信グループ名 } …配信グループ名が表示されます { ステップメールプラン名 } …ステップメールプラン名が表示されます ※ステップメール、A/Bテストメールは配信Standard以上のみ取得可能 トリガーメール、フォローメールは配信Bridge以上のみ取得可能
メールID	1
件名	〇〇セミナーのお知らせ
開封日時	2019-09-20 14:17:19

並び順

- ・ メールアドレス
- ・ メール種類(グループメール > スポットメール > ステップメール > A/Bテストメール > トリガーメール > フォローメール)
- ・ メールID
- ・ 開封日時

クリックメール取得API

【概要】

クリックしたメールのデータを取得するAPIです。

【接続先URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■■/api/v1/clickurl/get

●●●●●●/■■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログインURLに置き換えてください。

例)お客様のログインURLが https://a01.hm-f.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、a01.hm-f.jp

■■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
date	検索日	文字列		メールデータの抽出対象とするクリック日付を指定します。 ※指定が無い場合は前日分のデータを取得します 例. “2020/02/14”

【取得内容】

ファイル名 : clickurl_get_{YYYYmmddHHiiSS}.csv

CSV項目名	表示例
メールアドレス	user01@example.com
メール種類	グループ({ 配信グループ名 }) スポット ステップ({ ステップメールプラン名 }) A/Bテスト({ 配信グループ名 }) トリガー({ 配信グループ名 }) フォローメール({ 配信グループ名 }) ※{ 配信グループ名 } ...配信グループ名が表示されます { ステップメールプラン名 } ...ステップメールプラン名が表示されます ※ステップメール、A/Bテストメールは配信Standard以上のみ取得可能 トリガーメール、フォローメールは配信Bridge以上のみ取得可能
メールID	1
件名	〇〇セミナーのお知らせ
クリック日時	2019-09-20 14:17:19
URL	https://www.rakus.co.jp/

並び順

- ・ メールアドレス
- ・ メール種類(グループメール > スポットメール > ステップメール > A/Bテストメール > トリガーメール > フォローメール)
- ・ メールID
- ・ クリック日時

配信停止/禁止顧客一覧取得API

【概要】

配信停止、または配信禁止の顧客の一覧を取得するAPIです。

【接続先URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■■/api/v1/cnlban/get

●●●●●●/■■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログインURLに置き換えてください。

例)お客様のログインURLが https://a01.hm-f.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、a01.hm-f.jp

■■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
type	データタイプ	文字列	★	配信停止、禁止のいずれの顧客一覧を取得するか指定します。 配信停止の場合“cancel”、配信禁止の場合“ban”を値に指定します。

【取得内容】

ファイル名 : cnlban_get_{YYYYmmddHHiiss}.csv

CSV項目名	表示例
メールアドレス	user01@example.com

並び順

- ・メールアドレス

来訪回数取得API

【概要】

指定した日付の来訪回数を取得するAPIです。
 ※Bridgeプランのみ利用可能

【接続先URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■■/api/v1/pvcount/get

●●●●●●/■■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログインURLに置き換えてください。

例)お客様のログインURLが https://a01.hm-f.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、a01.hm-f.jp

■■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
date	検索日	文字列		来訪回数の抽出対象とする来訪日付を指定します。 ※指定が無い場合は前日分のデータを取得します 例. “2020/02/14”

【取得内容】

ファイル名 : pvcount_get_{YYYYmmddHHiiss}.csv

CSV項目名	表示例
来訪タグID	1
来訪タグ名	料金ページ
メールアドレス	user01@example.com
来訪回数	3

並び順

- ・ 来訪タグID
- ・ メールアドレス

メール一覧取得API

【概要】

指定した日付に配信が完了したメール一覧を取得するAPIです。

【接続先URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■■/api/v1/sentmaillist/get

●●●●●●/■■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログインURLに置き換えてください。

例)お客様のログインURLが https://a01.hm-f.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、a01.hm-f.jp

■■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
date	検索日	文字列		メールデータの抽出対象とする配信日付を指定します。 ※指定が無い場合は前日分のデータを取得します 例. “2020/02/14”

【取得内容】

ファイル名 : sentmaillist_get_{YYYYmmddHHiiss}.csv

CSV項目名	表示例
メールID	1
配信グループ名	料金ページ
配信日時	2020/8/17 16:50:00
件名	API連携テストメール
配信数	9999
開封数	150
クリック数	100
到達数	9000
差出人名	ラクス太郎
本文テキスト	API連携テストメール
本文HTML	API連携テストメール
GA/パラメータ	utm_source=haihaimail&utm_medium=email&utm_campaign=ga_test&utm_content=mailid-83 ※以下に該当しない場合、ブランク表示となります アプリケーションタイプが Standard 以上、かつ 基本設定 > Googleアナリティクス連携 > 利用する
CV数	50 ※下記に該当しない場合、ブランク表示となります アプリケーションタイプが Standard 以上、かつ 簡単クリックURL、またはクリックURLコードが挿入されたメール
購読解除数	10 ※下記に該当しない場合、ブランク表示となります

	解除フォームURL または 空メールアドレス(解除)が挿入されたメール
メモリー配信	有効 ※ 下記に該当しない場合、ブランク表示となります アプリケーションタイプがBridge、かつメモリー配信設定がされたメール

並び順(降順)

- ・ 配信日時
- ・ メールID

顧客閲覧URL生成API

【概要】

指定したメールアドレスに対応する顧客閲覧画面のURLを生成するAPIです。

【接続先URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■■/api/v1/custurl/get

●●●●●●/■■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログインURLに置き換えてください。

例)お客様のログインURLが https://a01.hm-f.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、a01.hm-f.jp

■■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
mailaddr	メールアドレス	文字列		メールアドレスの指定がない場合、全顧客の顧客閲覧URLを生成する

【取得内容】

ファイル名 : custurl_get_YYYYmmddHHiiss.csv

CSV項目名	表示例
顧客ID	1
メールアドレス	user@example.com
URL	https://a01.hm-f.jp/api_sample/index.php?action=ExtLogin&a=1&page=ViewCust&mailaddr=user@example.com&vmode=ne

並び順

- ・ 顧客ID
- ・ メールアドレス
- ・ URL

【注意事項】

本APIで生成されたURLはIPアドレス制限オプションによるアクセスブロックの対象外です。

グループ名・ステップメールのプラン一覧取得API

【概要】

グループ名・ステップメールのプラン名の一覧を取得する API です。

【接続先URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■■/api/v1/groupsteplist/get

●●●●●●/■■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログインURLに置き換えてください。

例)お客様のログインURLが https://a01.hm-f.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、a01.hm-f.jp

■■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
list	リスト	文字列		グループ名一覧取得の場合 : group ステップメールのプラン一覧取得の場合 : step 両方取得する場合 : 指定しない

【取得内容】

ファイル名 : groupsteplist_get_YYYYmmddHHiiss.csv

CSV項目名	表示例
種別	グループ ※stepを指定した場合ステップと表示されます
ID	1
名称	グループ1

並び順

- ・ 種別(グループ>ステップ)
- ・ ID
- ・ 名称

顧客DB項目一覧取得API

【概要】

顧客DB項目のIDと項目名を取得するAPIです。

【接続先URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■■/api/v1/custpropertylist/get

●●●●●●/■■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログインURLに置き換えてください。

例)お客様のログインURLが https://a01.hm-f.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、a01.hm-f.jp

■■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

リクエストパラメータなし

【取得内容】

ファイル名 : custpropertylist_get_YYYYmmddHHiiss.csv

CSV項目名	表示例
ID	1 ※項目名がメールアドレスの場合表示されません
項目名	名前

並び順

- ・ ID
- ・ 項目名

反応者一覧取得API

【概要】

指定した日の効果測定の結果を取得するAPIです。

【接続先URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■■/api/v1/measuredatalist/get

●●●●●●/■■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログインURLに置き換えてください。

例)お客様のログインURLが https://a01.hm-f.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、a01.hm-f.jp

■■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
measuretype	効果測定種別	文字列	★	取得したい効果測定の種別を指定します。 openhtml :HTML開封の効果測定 clickurl :クリックURLの効果測定 pv :来訪タグの効果測定 cv :CVの効果測定 dlurl :添付ダウンロードの効果測定 sendingerror :配信エラーの効果測定
date	検索日	文字列	★	取得する効果測定の日を指定します。 例. “2020/02/14”
hour	検索時間	文字列		取得する効果測定の時間(0~23)を指定します。 ※指定しない場合は指定日のすべてのデータを取得します。
include_customer_data	顧客情報取得のフラグ	文字列		顧客情報を取得するかを指定します。 ※指定しない場合は顧客情報を取得しません。 1:顧客情報を取得する 0:顧客情報を取得しない(反応情報のみ取得する)

【取得内容】

ファイル名 : measuredatalist_get_YYYYmmddHHiiss.csv

▼HTML開封の効果測定を指定した場合

CSV項目名	表示例
計測日時	2023-08-24 17:30:10
メールアドレス	user@example.com
効果測定種別	開封
メール種類	グループ(グループ1)
メールID	1
件名	件名1
顧客DB項目	効果測定を記録した顧客の顧客DBに登録された情報(メールアドレス以外)

並び順

- ・ 計測日時の昇順
- ・ グループの昇順、プランの昇順
 - ※グループとプランが別れてグループ化される
 - ※スポットメールはグループに属する

▼クリックURLの効果測定を指定した場合

CSV項目名	表示例
計測日時	2023-08-24 17:30:10
メールアドレス	user@example.com
効果測定種別	クリック
メール種類	グループ(グループ1)
メールID	1
件名	件名1
URL	この効果測定を記録したURL
顧客DB項目	効果測定を記録した顧客の顧客DBに登録された情報(メールアドレス以外)

並び順

- ・ 計測日時の昇順
- ・ グループの昇順、プランの昇順
 - ※グループとプランが別れてグループ化される
 - ※スポットメールはグループに属する

▼来訪タグの効果測定を指定した場合

CSV項目名	表示例
計測日時	2023-08-24 17:30:10
メールアドレス	user@example.com
効果測定種別	来訪
タグ名	タグ1
顧客DB項目	効果測定を記録した顧客の顧客DBに登録された情報(メールアドレス以外)

並び順

- ・ 計測日時の昇順

▼CVの効果測定を指定した場合

CSV項目名	表示例
計測日時	2023-08-24 17:30:10
メールアドレス	user@example.com
効果測定種別	CV
メール種類	グループ(グループ1)
メールID	1
件名	件名1
顧客DB項目	効果測定を記録した顧客の顧客DBに登録された情報(メールアドレス以外)

並び順

- ・ 計測日時の昇順
- ・ グループの昇順、プランの昇順
- ※グループとプランが別れてグループ化される
- ※スポットメールはグループに属する

▼添付ダウンロードの効果測定を指定した場合

CSV項目名	表示例
計測日時	2023-08-24 17:30:10
メールアドレス	user@example.com
効果測定種別	添付DL
メール種類	グループ(グループ1)
メールID	1
件名	件名1
ファイル名	ファイル1
顧客DB項目	効果測定を記録した顧客の顧客DBに登録された情報(メールアドレス以外)

並び順

- ・ 計測日時の昇順
- ・ グループの昇順、プランの昇順
 - ※グループとプランが別れてグループ化される
 - ※スポットメールはグループに属する

▼配信エラーの効果測定を指定した場合

CSV項目名	表示例
計測日時	2023-08-24 17:30:10
メールアドレス	user@example.com
効果測定種別	配信エラー
メール種類	グループ(グループ1)
メールID	1
件名	件名1
顧客DB項目	効果測定を記録した顧客の顧客DBに登録された情報(メールアドレス以外)

並び順

- ・ 計測日時の昇順
- ・ グループの昇順、プランの昇順
 - ※グループとプランが別れてグループ化される
 - ※スポットメールはグループに属する

フォーム一覧取得API

【概要】

登録されているフォームの一覧を取得するAPIです。

【接続先URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■■/api/v1/inquiryformlist/get

●●●●●●/■■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログインURLに置き換えてください。

例)お客様のログインURLが https://a01.hm-f.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、a01.hm-f.jp

■■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

不要

【取得内容】

ファイル名 : inquiryformlist_get_YYYYmmddHHiiss.csv

CSV項目名	表示例
ID	1
名称	回答フォーム1

並び順

・ ID

フォーム回答一覧取得API

【概要】

指定した日時のフォームの回答一覧を取得するAPIです。

【接続先URL】

https://●●●●●●/■■■■■■■■/api/v1/inquiryformanswerlist/get

●●●●●●/■■■■■■■■ は、弊社からお知らせしたログインURLに置き換えてください。

例)お客様のログインURLが https://a01.hm-f.jp/api_sample/index.php の場合、

●●●●●● は、a01.hm-f.jp

■■■■■■■■ は、api_sample に置き換えてください。

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
formid	フォームID	文字列		取得したいフォームIDを指定します。 ※IDを指定しない場合は、問い合わせフォームの回答を全て取得します
fromdate	回答日(From)	文字列		取得したい問い合わせフォームへの回答日付(From)を指定します。 ※回答日(From)を指定しない場合は、過去全てに遡ってフォームの回答を取得します
fromhour	回答時(From)	文字列		取得したい問い合わせフォームへの回答時間(0~23)を指定します。 ※回答時(From)を指定しない場合は、時間を考慮せず回答日(From)に設定された日付以降のフォームの回答を取得します
todate	回答日(To)	文字列		取得したい問い合わせフォームへの回答日付(To)を指定します。 ※回答日(To)を指定しない場合は、現在日時より先の未来を含めたフォームの回答を取得します
tohour	回答時(To)	文字列		取得したい問い合わせフォームへの回答時間(0~23)を指定します。 ※回答時(To)を指定しない場合は、時間を考慮せず回答日(To)に設定された日付までのフォームの回答を取得します

【取得内容】

ファイル名 : inquiryformanswerlist_get_YYYYmmddHHiiss.csv

CSV項目名	表示例
フォームID	1
フォーム名	回答フォーム1
回答ID	1
回答日時	2023-10-16 11:10:30
顧客ID	1
データベース項目	※すべてのデータベース項目の回答が表示されます ※そのフォームで表示している／していないに関わらずすべてのDBが書き出しの対象となります
...	
回答	【メールアドレス】 user@example.com 【独自フォーム】 独自フォーム項目の回答データ ※その回答のデータベース項目とフォームオリジナル項目すべてを列挙します ・複数の項目を1つのカラムにまとめて出力します ・項目名と値を出力します(項目名を隅付き括弧で囲い、改行の後に値を書き出します) ・データベース項目がまず並び、そのあとにオリジナル項目が並びます ・データベース項目の値とこの項目で出力される値には重複が発生します

並び順

- ・ フォームID
- ・ 回答ID